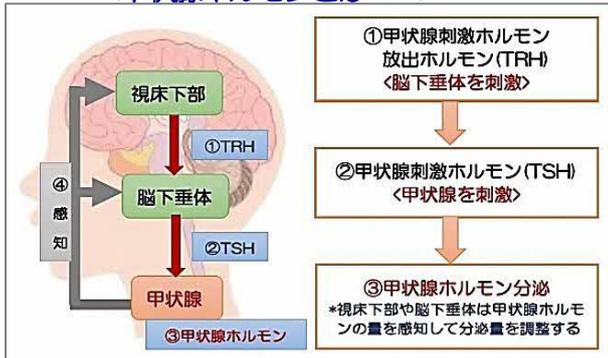


～知っていますか?「甲状腺」の働き～

「甲状腺」は首の喉仏の下にある蝶が羽を広げたような形をした臓器で、「甲状腺ホルモン」を作っています。このホルモンは、からだの代謝や成長・発達に関係しているため、甲状腺ホルモンの異常は心身の様々な症状を引き起こします。



＜甲状腺ホルモンとは・・・＞



＜甲状腺ホルモンの異常による症状＞

甲状腺ホルモンの分泌が多い	共通する症状	甲状腺ホルモンの分泌が少ない
甲状腺機能亢進症による主な症状 <input type="checkbox"/> 暑がりになった <input type="checkbox"/> 汗が多く出る <input type="checkbox"/> 脈拍数が多く動悸がする <input type="checkbox"/> 息切れがする <input type="checkbox"/> 手足が震える <input type="checkbox"/> イライラする <input type="checkbox"/> 体温が上昇する <input type="checkbox"/> よく食べる <input type="checkbox"/> 排便回数の増加 <input type="checkbox"/> 体重減少	<input type="checkbox"/> 疲れやすい <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 脱毛	甲状腺機能低下症による主な症状 <input type="checkbox"/> 寒がりになった <input type="checkbox"/> むくむ <input type="checkbox"/> 体重増加 <input type="checkbox"/> 便秘 <input type="checkbox"/> 気力がない <input type="checkbox"/> 眠気を感じる <input type="checkbox"/> 皮膚の乾燥 <input type="checkbox"/> 筋力の低下 <input type="checkbox"/> 動きが鈍くなる <input type="checkbox"/> 物忘れ

「おかしいな」と感じたら、まずはかかりつけ医に相談し、異常がみつかった場合は専門医に診てもらいましょう。

●甲状腺の疾患について

甲状腺の病気は大きく3つに分けられます。

甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症	甲状腺腫瘍
甲状腺ホルモンが過剰に分泌され、全身の代謝が高まった状態のこと <代表的な疾患> バセドウ病	甲状腺ホルモンが不足し、甲状腺の機能が低下した状態のこと <代表的な疾患> 橋本病	甲状腺にこぶ(結節)ができた状態で良性的な場合が多いが、まれに悪性的な場合もある <代表的な疾患> 甲状腺腫・甲状腺がん

バセドウ病とは・・・

バセドウ病は自己免疫疾患のひとつです。原因ははっきりしませんが、甲状腺に対する抗体ができて甲状腺を刺激し、甲状腺ホルモンが過剰に分泌されることで起こります。体質やウィルス感染、ストレス等がきっかけと考えられています。

＜症状＞

動悸、息切れ、発汗、体重減少、疲労感等が起こります。甲状腺は全体的に腫れ、眼球突出となる場合もあります。男性の場合は、突然、手足が動かなくなる周期性四肢麻痺が起こることがあります。

＜治療＞

- ①薬物療法 → 抗甲状腺薬の服用
- ②手術療法 → 腫れが大きい場合や薬の副作用がある場合に実施
- ③アイソトープ療法
→ 甲状腺がヨードを取り込む性質を利用し、放射性ヨウ素イソトープを服用して甲状腺内部から放射線を照射する

＜日常生活＞

ストレスにより悪化・再燃することがあるので、規則正しい生活や気分転換を心がけましょう。喫煙は薬の効きや眼の症状が悪化しやすくなるので禁煙が大切です。

参考：日本内分泌学会HP、日本甲状腺学会HP

健康支援係 電話：011-231-4111
(内線：35-380)

橋本病(慢性甲状腺炎)とは・・・

橋本病は自己免疫疾患のひとつです。原因ははっきりしませんが、免疫の異常により甲状腺に慢性的な炎症が生じ、甲状腺の組織が壊されて甲状腺機能低下が生じます。ストレスや出産等がきっかけに起こるのではないかと考えられています。

＜症状＞

全身の代謝が低下し、疲れやすさ、無気力、寒がり、むくみ、体重増加が生じ、うつ病や認知症と間違われることもあります。

＜治療＞

甲状腺の機能が低下している場合は薬物療法を行います。

＜日常生活＞

甲状腺機能低下症状が強い時は、体に負担がかからないようにしましょう。

甲状腺腫瘍とは・・・

甲状腺腫瘍には、全体が腫れる「びまん性甲状腺腫」と、部分的にしこりができる「結節性甲状腺腫」があります。結節性甲状腺腫は良性和悪性に分けられます。

＜症状＞

腫瘍が大きくなると、前頸部に違和感を感じるようになります。良性腫瘍から甲状腺ホルモンが過剰分泌される機能性甲状腺結節の場合には、動悸、発汗、体重減少などの甲状腺機能亢進症状が出る場合があります。

＜治療＞

良性的な場合は経過観察が基本ですが、腫瘍が大きく圧迫感があったり、気になる場合は手術を行います。悪性的な場合は手術が基本で、場合により手術後に放射線ヨウ素内用療法を行います。